

# 令和2年度事業報告

## I 畜産経営の安定と技術の向上に係る支援及び畜産への理解醸成を図る事業

### 1 畜産経営を支援する事業

#### (1) 畜産経営指導体制円滑化推進事業 (補助：茨城県、継続) 公益

安定的な畜産経営を推進するため、畜産コンサルタント職員を5名設置し、経営感覚に優れた畜産経営体を育成・支援しました。

#### (2) 地域畜産総合支援体制整備事業 (受託：茨城県、継続) 公益

経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を育成するため、各分野の専門家からなる経営改善指導チームの設置等、指導体制の整備及び指導手法・内容の充実を図り、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する指導等を総合的に行いました。

##### ア 畜産経営体支援指導研究会の開催

畜産経営体に対する経営支援の在り方等についての検討や情報提供を行うため、県及び関係機関を構成員とする研究会を開催しました。

令和2年10月29日 水戸市 (JA会館) 参加者20名

##### イ 畜産経営技術指導用機器の整備

支援指導用データ集計、畜産経営分析支援システム等の活用、また、ホームページ等を活用した各種畜産情報の提供等、指導用機器を整備し活用しました。

##### ウ 畜産経営技術の総合支援指導

###### (ア) 個別支援指導

畜産経営改善指導チームにより、認定農業者や将来認定農業者となりうる意欲ある経営体等を対象に経営診断を実施するとともに、生産技術の改善や経営の安定化を図るため効率的な支援指導を実施しました。

区分	件数	備 考
経営診断改善指導	20件	酪農：4件 肉用牛：8件 養豚：8件
経営管理・生産技術指導	66件	酪農：12件 肉用牛：31件 養豚：20件 養鶏：3件

###### (イ) 地域支援指導

畜産経営体や畜産関係の指導者等を対象とした経営セミナーを開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が延長されたため、書面開催に切替え実施しました。

・セミナー内容「畜産経営継承システムの構築について」(第三者継承)

###### (ウ) 畜産経営改善指導チームの設置

畜産経営体からの要請内容、畜産経営体の経営の実態等に応じた畜産経営改善指導チームを設置し、経営改善、経営安定化のための効率的な支援指導を実施しました。 総括畜産コンサルタント(3名) 畜産コンサルタント(3名) 畜産経営アドバイザー(24名)

(エ) 畜産経営関係情報のホームページによる提供

畜産経営体等に対する効率的かつ効果的な支援指導を行うため、「いばらきの畜産情報」HP等で情報提供をしました。

銘柄畜産物紹介	本県畜産の動向	農家のための支援事業	堆肥流通コーナー
イベント情報	市況情報	機関誌（畜産茨城）	伝染病（発生情報）

・年間アクセス数 = 62万アクセス

(3) 畜産特別資金等推進指導事業 (補助：中央畜産会、継続) **その他**

ア 県支援推進協議会の開催

推進協議会・専門委員会を開催し借受者に対する重点指導事項等の検討を行いました。

・令和2年7月29日 水戸市（JA会館）参加者：協議会員及び専門員21名

イ 借入者の経営改善のための指導等

県推進協議会と県内関係機関が連携を図り、借受者及び融資機関に対し経営改善のための支援指導を行いました。

・借受者2件（畜産経営維持緊急支援資金：肉用牛1件・養豚1件）

(4) 貸付事業指導等事業 (受託：畜産近代化リース協会、継続) **その他**

畜産近代化リース協会より貸付された機械施設の効率的な利用を図るため、現地確認や管理状況についての調査及び指導を行いました。

・管理状況調査 1経営体 送風機1物件

・新規開拓調査 111経営体

(5) 生産基盤拡大加速化(肉用牛)事業 (受託：全国肉用牛振興基金、新規) **その他**

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため畜産クラスター協議会が定める畜産クラスター計画に基づく増頭の取組の円滑な実施を図るため、事業要望書及び事業実施計画書の取りまとめ等の推進業務を実施しました。

・9取組主体 対象頭数423頭

## 2 畜産技術の向上や生産基盤の整備を図る事業

(1) 良質堆肥広域流通促進事業 (補助：茨城県、継続) (単独：継続) **公益**

畜産農家と耕種農家の連携を強化し、堆肥生産・利用双方の情報収集や交流を進めました。また、良質堆肥の生産及び広域流通を推進することにより、資源循環型農業を促進し農畜産業の安定的発展を図りました。

ア 堆肥利用集団の組織化支援及び広域流通促進

(ア) 堆肥コーディネーターを設置し、堆肥の需給情報を収集することにより堆肥の流通・利用の促進を図りました。

・堆肥に関する問合せ件数 55件

(イ) 堆肥コンクールを開催し堆肥の品質向上を図りました。

・表彰式：令和3年1月29日 石岡市 参加者15名

(ウ) 堆肥の広域流通を促進するため、堆肥生産者名簿を作成し、耕種農家に堆肥生産者情報を提供しました。

(エ) 県やJA等の協力を得て、堆肥需要調査を実施するとともに特殊肥料届出を推進しました。

・調査件数 36件

・特殊肥料の届出 7件

イ 堆肥の新たな活用・販売ルートの開拓支援

(ア) 霞ヶ浦流域で生産される良質な堆肥を肥料メーカーに供給するなど農業以外での利用を促進し、肥料メーカーが生産する混合堆肥複合肥料の実証圃の設置を支援しました。

・肥料メーカーへの堆肥の供給 124 t

・混合堆肥複合肥料実証 18.56 ha

(イ) 堆肥の試験輸出に要する経費を補助しました。 1社

(2) 地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業 (補助：農畜産業振興機構、継続) **公益**

肉用牛の生産基盤を強化するため、肉用牛繁殖経営が行う高能力繁殖雌牛の導入及び増頭に資する施設整備の取り組みに助成しました。

・中核的担い手増頭推進 7 集団 43 頭

・遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保 1 集団 1 頭

・増頭に資する施設整備 5 集団 15 施設

(3) 銘柄畜産物ブランド支援事業 (補助：茨城県、継続) **公益**

県内養豚農家の種豚の能力向上を推進するため、県養豚研究所で造成された系統豚「ローズD-1」による種豚の更新に対し助成しました。

・戸数 36 戸 72 頭

(4) 畜産経営指導体制円滑化推進事業 (補助：茨城県、継続) **その他**

ア 家畜改良支援事業

本県の優秀な種畜の血統の保持と能力向上を図り、子豚登記及び種豚登録を推進しました。また、肉豚経営安定交付金制度及び肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る生産者への支援等を推進しました。

イ 畜産協会組織強化事業

畜産情勢の変動に対応した指導支援を実施するため、常勤役員及び畜産アドバイザーを設置し、畜産協会の組織執行体制の強化を図りました。

(5) 家畜登録推進事業 (単独、継続) **その他**

県、市町村及び関係団体の協力を得て種豚登録、子豚登記を積極的に実施するとともに系統豚の認定規定に関する証明と豚人工授精用精液の販売を行いました。

- ・種豚登録 370 件 子豚登記 712 件 一代雑種血統証明 459 件
- ・豚人工授精用精液販売 3,130 本

(6) 畜産共進会開催事業 (補助：茨城県、継続) **その他**

家畜の改良増殖を促進するため、広域的な共進会について、開催経費の一部を助成しました。

(7) 繁殖雌牛整備推進事業 (受託：茨城県、継続) **その他**

優良繁殖雌牛群の整備を推進するため、肉用牛繁殖農家を対象に繁殖雌牛育種価分析値にもとづく支援を実施しました。

- ・対象戸数 365 戸 育種価判明頭数 2,336 頭

(8) 畜産振興対策事業 (単独、継続) **その他**

県及び国等に対する畜産行政施策の要請活動や、共進会等への協力・支援及びその他畜産振興に係る事業を行いました。

ア 畜政活動

県内の畜産関係団体との連携を図りながら、畜産行政施策に係る提言や県要請活動を行いました。

イ 生産流通促進

畜産関係団体が開催する各種共進会等を支援しました。

ウ 情報誌編集発行事業

畜産に関する経営管理技術、家畜衛生対策、市場取引状況、イベント等、各種情報を畜産関係者等に提供するため、情報誌「畜産茨城」の発行を行いました。

- ・発行部数 7,800 部 (年 6 回発行)
- ・配布先 会員、市町村、県関係機関、畜産関係団体等

(9) 畜産大賞選定事業 (単独、継続) **その他**

令和 3 年 3 月 10 日に畜産大賞審査委員会を開催し、本県の畜産振興に特に貢献のあった個人、又は団体を選定しました。

受賞部門	受賞区分	受賞者	受賞内容
経営・指導	最優秀賞	中村 公德 氏	牛の月齢に応じた飼養管理等の生産技術を磨き、令和 2 年には平均枝肉重量 559 kg、常陸牛格付率が 97.3%という、素晴らしい成績を残された。

地域振興	最優秀賞	本橋 忠雄 氏	37年にわたり、ローズポークを出荷する県内最多出荷者として養豚振興及び県銘柄豚のブランド確立に多大なる貢献をされている。
特別功労賞		謝村 錦司 氏	民間家畜防疫員として、本県家畜衛生に大きく貢献された。
		小松崎 雅雄 氏	民間家畜防疫員として、本県家畜衛生に大きく貢献された。

(10) 県産和牛等学校給食提供緊急対策事業 (受託：茨城県、新規) **その他**

新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要や外食需要の減少により在庫が急激に増加した県産の和牛肉等及び、奥久慈しゃもを学校給食の食材として提供することで需要喚起と消費拡大を図る取組を支援しました。

黒毛和種	交雑種	奥久慈しゃも
41,319 kg	1,874 kg	12,310 kg
提供学校数：804校（1校当たり1～5回実施）、約120万食		

(11) 銘柄畜産物ブランド支援事業（常陸牛輸出促進）

（補助：茨城県 受託：茨城県常陸牛振興協会、継続） **その他**

常陸牛のブランド力向上のため輸出販売促進員を設置し、東南アジア等を中心に輸出を促進しました。

- ・常陸牛輸出販売促進員 1名
- ・常陸牛海外販売推奨店 30店舗（ベトナム17店舗・タイ7店舗・米国6店舗）

(12) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（受託：中央畜産会、継続） **その他**

畜産クラスター協議会が定める畜産クラスター計画等に基づき、地域の収益性向上等に必要な機械器具等（リース・購入）の導入を図るため、事業の推進業務、及び機械導入状況調査に係る機械の現地確認を3件実施しました。

要 望			採 択		
協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
11	27	45	11	27	45

(13) 畜産経営体生産性向上緊急対策事業（畜産 ICT） (受託：中央畜産会、継続) **その他**

県内の畜産 ICT 応援会議が地域酪農、肉用牛経営の労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入の円滑な推進を図るため、推進指導、現地調査及び取りまとめ等を行いました。

	要 望			採 択		
	協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
第1回	3	10	11	3	10	11
第2回	1	1	1	1	1	1

(14) 畜産・酪農生産力強化対策事業（家畜生産性向上対策）

（受託：中央畜産会、継続）**その他**

家畜生産性向上を図るため、家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための家畜・酪農の生産性データ等の収集・分析、技術指導を実施しました。

- ・対象戸数 4戸（肉用牛3、酪農1）

(15) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO）

（受託：中央畜産会、継続）**その他**

県内の楽酪応援会議が地域酪農の労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入と一体的な施設の補改修・増築を推進するうえで、事業の円滑な推進を図るため、普及推進及び事業推進に係る指導・調査等を行いました。

- ・令和2年度 要望なし

(16) 肉豚経営安定交付金制度に係る連絡調整業務事業

（受託：農畜産業振興機構、継続）**その他**

制度の内容・適切な事務処理について周知を行い、円滑な制度実施のための理解・協力を得るため、県内事業説明会を開催し、制度に関する照会対応及び適正実施を図るための連絡調整等を行いました。

(17) 養豚経営安定対策補完事業

（補助：農畜産業振興機構、継続）**その他**

産子数の向上や配合飼料の節減など生産コストの低減を図るため、一代雑種雌豚の導入に要する経費の一部を補助しました。

- ・種豚導入 5集団 173頭

(18) 自給飼料コンクール事業

（受託：茨城県、継続）**その他**

自給飼料の効率的な生産及び利用技術等優秀な事例を表彰し、これを広く紹介することにより、畜産経営における飼料基盤の重要性を啓発するため、自給飼料コンクールを開催しました。

- ・令和2年12月16日 官能評価審査
- ・令和3年1月20日 総合審査会（書面審査） 審査員 9名

表彰（区分）	市町村	受賞者
最優秀賞（茨城県知事賞）	小美玉市	木名瀬 幸吉 氏
優 秀 賞（茨城県議会議長賞）	小美玉市	(株)チェスナットファーム
優 良 賞（茨城県畜産センター長賞）	大子町	戸辺 久一郎 氏

(19) **ブランド豚肉生産拡大事業** (受託：茨城県、継続) **その他**

茨城県が造成したデュロック種系統豚ローズ D-1 を活用した新たな銘柄豚「常陸の輝き」について、生産拡大や品質の安定化、流通・販売の円滑化を図るため、専門職員を設置し、銘柄推進組織の運営や販売PR活動を行いました。

ア 常陸の輝き推進協議会において、事業計画や生産基準の運用について検討や、生産者部会を開催し、意見交換を行いました。

イ 生産対策

品質維持のため、生産者各個の肉質分析と飼料分析を実施し、新たな生産希望者に対し個別訪問を行いました。

ウ 流通・販売PR活動

販路開拓のため商談会、店舗巡回、及び各種イベントへの参加、キャンペーン等を実施しました。

・商談会：2回 ・巡回等：15店舗 ・イベント参加：3回 ・キャンペーン2回

(20) **畜産経営災害総合対策緊急支援事業** (補助：農畜産業振興機構、継続) **その他**

令和元年台風第15号及び第19号により被害を受けた生産者に対し、畜舎等、飼養管理附帯施設の補改修等に対する緊急支援及び非常用電源の整備を行いました。

・肉用牛農家数9件 ・養豚農家数10件

### 3 畜産の理解醸成を図る事業

(1) **畜産振興補助事業** (補助：地方競馬全国協会、継続) (単独：継続) **公益**

畜産農家に対する担い手育成等を通して畜産経営の安定化を図るとともに、県産畜産物のPR活動等により、消費者に対する畜産への理解醸成を図るための下記事業を推進しました。

ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

経営体の経営改善を図るためコンサルタントによる改善指導、種畜の能力向上と生産基盤の拡充及び担い手育成を図るための支援や研修会を実施しました。

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

県産畜産物の素材提供による食育活動支援、銘柄畜産物のブランドアップ活動及び優秀な経営体等の功績の表彰を実施しました。

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

畜産物と地方競馬の普及啓発を図るため冠レースを実施しました。

(2) 畜産ふれあい体験事業 (単独、継続) **公益**

県食肉事業連主催の消費者を対象とした「牧場体験バスツアー」に協賛し、支援する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

(3) 常陸牛情報発信事業 (受託：茨城県常陸牛振興協会、継続) **その他**

銘柄和牛「常陸牛」の知名度向上と消費拡大を図るため、インターネットを活用した情報発信を行いました。

ア 常陸牛ホームページを活用した広報宣伝

- ・指定店、推奨店の情報やイベント情報の発信

イ 常陸牛ホームページの運営管理

- ・ページアクセス数 127,421 件/年
- ・プレゼントキャンペーンの実施 応募数 6,718 件

(4) 畜産活性化対策事業 (単独、継続) **その他**

県産畜産物の消費拡大を図るため、インターネットを活用した情報発信を行いました。

(5) 畜産関係団体調整機能強化事業 (受託：中央畜産会、継続) **その他**

県内生産者等からの各種相談に対応するため、当協会職員のスキルアップのための研修及び、県及び関係団体との連携強化のための打合せ等に参加しました。

- ・参加回数 11 回

## II 家畜・畜産物の衛生対策を支援する事業

### 1 防疫体制の整備を図る事業

(1) 自衛防疫強化総合対策事業 (補助：茨城県、継続) (単独：継続) **公益**

自衛防疫を円滑に実施するため、地域単位での自衛防疫推進会議の開催と、家畜衛生に関する資料を作成し、情報提供による衛生知識の普及向上を図りました。

ア 自衛防疫推進会議

市町村衛生指導協会へ家畜衛生関係に係る事業推進資料を送付しました。

イ 広報事業

衛生知識の普及と病原体侵入リスク低減を図るため、印刷物等を作成し配布しました。

- ・高病原性鳥インフルエンザ等防疫対策マニュアルの作成 1,560 部
- ・飼養衛生管理基準シールの配布 477 件
- ・肉製品持込禁止リーフレットの作成、配布 11,000 部
- ・日本語版立入禁止看板の作成 750 部

(2) 地域自衛防疫推進事業 (補助：茨城県、継続) (単独：継続) **公益**

各市町村衛生指導協会等における家畜伝染病等の組織的な対応が必要な疾病の発生防止対策の取組みに対する助成金を交付し、地域自衛防疫体制の一層の強化・充実を図りました。

(3) 家畜防疫互助基金支援事業 (補助：農畜産業振興機構、継続) **公益**

豚熱・口蹄疫・アフリカ豚熱・牛疫・牛肺疫の発生による畜産経営への影響緩和のため、生産者への事業加入促進を図りました。

(令和2年度家畜防疫互助事業加入状況)

畜種	加入戸数	加入頭数
乳用牛	195 戸	19,701 頭
肉用牛	342 戸	42,860 頭
豚	147 戸	389,840 頭
合計	684 戸	452,401 頭

(4) 獣医師養成確保修学資金給付事業 (補助：農林水産省、継続) **公益**

当年度の修学資金給付はありませんでしたが、次年度に向けた県との連絡調整等を行いました。

(5) 馬飼養衛生管理特別対策事業 (補助：中央畜産会、継続) **その他**

地域における馬飼養衛生管理体制の整備を図るため、委員会の開催や、馬飼養者等を対象に講習会を開催し、乗用馬等の獣医療実態調査を行いました。

ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

- ・コロナ感染症対策のため、令和3年2月 書面開催

イ 馬飼養衛生管理技術講習会「馬の一般的な疾患と予防について」

- ・コロナ感染症対策のため、令和3年1月 資料配布 157 名

ウ 地域馬獣医療実態調査

馬飼養者に対して、衛生管理の概念や飼養馬の疾病予防に関する認知度及び獣医療の実態について調査を行いました。

- ・調査戸数:157 戸 回答戸数:90 戸

(6) 家畜防疫・衛生指導対策事業 (補助：中央畜産会、継続) **その他**

ア 地域自衛防疫活動推進対策

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の発生時に、迅速かつ的確な防疫措置が講じられるよう、農場での初動防疫体制の充実・強化を図るため、防疫演習を実施しました。

なお、市町村等の動員関係者を参集して実施する一定規模の実地演習は、新型コロナウ

ウイルス感染症対策として演習動画を配信することにより代替し、各所における独自の視聴及び実地演習等の実施促進を図りました。

- ・令和2年8月19、21日（稲敷市） 参加者 27名
- ・令和2年11月13日（土浦市） 参加者 56名
- ・令和2年11月～（演習動画配信）

#### イ 慢性感染症清浄化支援対策

県内の酪農家、肉用牛繁殖農家における牛伝染性リンパ腫及び牛マイコプラズマ乳房炎の清浄化に向けて、防疫支援検討会を開催し、モデル農場における清浄化対策の検討及び実証調査等を行いました。

- ・モデル実証農場：21戸
- ・検査頭数：1,683頭

#### ウ 農場 HACCP 認証普及推進支援対策

農場 HACCP システムの取組を推進するため、コーディネーターによる農場の指導経費の支援と、広範的な普及を図るため、取組農場との意見交換会や研修会を開催しました。

- ・指導農場数：8農場（うちフォローアップ：3農場）
- ・意見交換会

開催日	指導者名	内容
令和2年10月19日	白田 一敏 氏	指導農場にて認証に向けた構築指導状況と認証取得時期等今後のスケジュール確認と意見交換
令和2年10月22日	赤池 洋 氏	
令和2年11月10日	小池 郁子 氏	

- ・講習会「農場を丸ごと清潔に！洗浄・消毒の実践ガイド」

令和3年2月18日 書面開催 25名

### （7）地域豚疾病緊急対策推進事業

（補助：中央畜産会、継続）**その他**

養豚農場で生産性を著しく阻害する疾病（PRRS）の発生低減対策を立案し、それに基づいた衛生対策を行い、疾病の発生を低減し、まん延防止に取り組みました。

- ・推進会議の開催 令和2年5月29日 石岡市 参加者 25名
- ・検討会の開催 令和2年7月27日 水戸市 参加者 14名
- ・PRRS まん延防止衛生指導 農家戸数 70戸 指導回数（延べ） 140回

## 2 家畜の疾病予防対策を推進する事業

### （1）家畜生産農場衛生対策事業

（補助：農林水産省、継続）（単独：継続）**公益**

#### ア 疾病清浄化支援対策

##### （ア）牛疾病防疫支援対策

- ・ヨーネ病対策

牛のヨーネ病まん延防止並びに早期清浄化のために飼養者が自主的に行う検査経費に助成しました。

検査戸数 10 戸 : 3,805 頭

・牛伝染性リンパ腫対策

牛伝染性リンパ腫の感染拡大を防止するため、発生農場での重点的な抗体検査や共同放牧場での抗体検査、高リスク牛のとう汰及び吸血昆虫の駆除対策等経費に助成しました。

とう汰戸数 2 戸 (2 頭) / 検査戸数 88 戸 (367 頭)

吸血昆虫の駆除対策数 1 牧場

・BVD-MD(牛ウイルス性下痢・粘膜病)対策

BVD-MDの清浄化を推進するため、発生農場等の重点的な検査、持続感染牛のとう汰等に助成しました。

持続感染牛のとう汰 8 戸 (11 頭) / 検査戸数 37 戸 (1,642 頭)

(イ) 地域生産性向上衛生対策

・牛マイコプラズマ性乳房炎対策

地域で課題となる生産性に影響を及ぼす牛マイコプラズマ性乳房炎による損耗軽減に向け、関係者と一体となった取組を推進しました。

感染牛のとう汰 のべ 4 戸 (8 頭)

イ 農場飼養衛生管理強化・疾病流行防止支援対策

飼養衛生管理の向上のため、生産者が自主的に指定獣医師等による衛生指導を受けるための調査と、吸血昆虫が媒介するアカバネ病と牛異常産の予防のため、生産者による組織的なワクチン接種に助成しました。

・調査指導戸数 牛飼養農家 120 戸 豚飼養農家 25 戸 鶏飼養農家 5 戸

・予防接種頭数 アカバネ 4,215 頭 牛異常産 3 種混合 2,476 頭

ウ 予防接種事故対策事業

予防接種が原因での家畜事故はありませんでした。

(2) 伝染性疾病発生予防事業

(単独、継続) 公益

牛の伝染病発生予防のため、イバラキ病、牛クロストリジウム感染症 5 種混合及び牛伝染性鼻気管炎の 5 種混合の予防接種を実施しました。

- ・牛クロストリジウム感染症 5 種混合 383 頭
- ・牛伝染性鼻気管炎 5 種混合 736 頭
- ・イバラキ病 361 頭

(3) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

(補助：中央畜産会、継続) その他

乗用馬等に対する馬インフルエンザと、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎の予防接種を行いました。

- ・馬インフルエンザ 318 頭
- ・馬鼻肺炎 延べ 2 頭

(4) 育成馬等予防接種推進事業 (補助：中央畜産会、継続) **その他**

馬生産育成地において、軽種馬の安定的生産を図るため、育成馬の予防接種に要する経費を助成しました。

(育成馬の予防接種)

対 象	予 防 接 種 名	頭 数
1 歳馬	3 種混合補強接種	5 頭
	馬インフルエンザ補強接種	28 頭
2 歳馬	3 種混合補強接種	127 頭
	馬インフルエンザ補強接種	353 頭
	日本脳炎補強接種	35 頭
	2 種混合基礎接種	135 頭
繁殖牝馬	馬インフルエンザ補強接種	3 頭

(5) ASF 侵入防止緊急支援事業 (補助：農畜産業振興機構、継続) **その他**

養豚農場に対して野生動物侵入防止用の柵を整備し、万が一我が県にアフリカ豚熱 (ASF) ウイルスが侵入した場合であっても農場への侵入を確実に防止する体制整備を行いました。

・整備農場数 199 戸 257 農場

(6) 豚熱野生イノシシ経口ワクチン緊急散布支援事業

(受託：茨城県 CSF 感染拡大防止対策協議会、継続) **その他**

農林水産省及び県指導の下、関係団体等との連携に努め、県内養豚関係者等に事業の趣旨、内容等の周知徹底に努めるとともに、この事業の円滑な推進を図りました。

### 3 畜産物の安全性を確保する事業

(1) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業 (補助：農林水産省、継続) **公益**

(牛疾病検査円滑化推進対策事業)

BSE 対策特別措置法に基づき、96 か月齢以上の死亡牛の BSE 検査を推進するため、農家への広報活動や死亡牛の輸送費及び検査費を助成しました。

ア 死亡牛検査処理安定化対策事業

BSE 検査を円滑に実施するため、県内で死亡した対象牛について、死亡場所から化製場までの適正な管理輸送にかかる経費を助成しました。

- ・死亡場所から BSE 検査センターまでの輸送頭数 184 頭
- ・BSE 検査センターから県外化製場までの輸送頭数 282 頭

イ 死亡牛検査支援対策事業

県が実施する BSE 検査に要する経費のうち、農家が負担する経費について助成しました。

・ B S E 検査頭数 282 頭

### Ⅲ 家畜・畜産物の価格補償を行う事業

#### 1 子牛等の家畜販売に係る価格補償を行う事業

- (1) 肉用子牛生産者補給金交付事業 (補助：農畜産業振興機構 継続) 公益  
(助成：茨城県、継続) (積立金：生産者、継続)

肉用子牛農家の経営安定を図るため、肉用子牛生産者補給金制度に基づき、肉用子牛生産者補給金交付事業を効率的に実施しました。

・ 契約生産者戸数 324 戸

#### ア 肉用子牛生産者補給交付金交付事業

肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、対象子牛に対して生産者補給金を交付しました。

・ 生産者補給金交付実績

時 期	種 別	頭 数	金 額
令和元年度第 4 四半期 (令和 2 年 1 月～3 月)	その他の肉専用種	1 頭	75,190 円

#### イ 肉用子牛生産者積立助成事業

肉用子牛生産者補給金の財源として、協会が積み立てる生産者積立金について、その一部に充てるための助成を受けました。

農畜産業振興機構助成金：生産者積立金の 2 分の 1 以内

茨 城 県 助 成 金：生産者積立金の 4 分の 1 以内

・ 個体登録実績頭数 令和 2 年 1 月 1 日から令和 2 年 12 月 31 日まで

種 別	頭 数
黒毛和種	3,879 頭
褐毛和種	0 頭
その他の肉専用種	3 頭
乳用種	1,642 頭
交雑種	3,906 頭
合 計	9,430 頭

- (2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 (補助：農畜産業振興機構、継続) 公益

補給金制度の適正な実施を図るための調査・指導、肉用子牛取引情報の収集をすることともに、協会の運営体制の強化等を図りました。

#### ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度に係る事業執行を的確に実施するため、統一電算システムを利用して肉用子牛に係る一連の事務と、家畜市場における肉用子牛の取引情報の収集と報告並びに事務委託先・契約生産者との事務手続き等についての点検、調査及び指導を実施し、業務の的確で迅速な処理体制を整備強化しました。

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を円滑に推進するため、協会の運営体制の強化を図りました。

(3) 肉用子牛生産者補給金交付事業事務 (単独、継続) **公益**

肉用子牛生産者補給金交付事業を実施するための事務を行いました。

(4) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 (補助：農畜産業振興機構、新規) **その他**

肉用子牛の飼養頭数を維持することを目的として畜舎の環境改善や疾病の防止等の経営改善に取り組む肉用子牛生産者から、経営改善計画を取りまとめ販売価格の低下に備えましたが、奨励金の交付はありませんでした。

・参加者数 250 戸

2 枝肉等の畜産物に係る価格補償を行う事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (受託：農畜産業振興機構、継続) **公益**

肥育牛の枝肉価格及び素畜価格の変動により肥育牛 1 頭当たりの粗収益（関東ブロック平均）が生産費（茨城県平均）を下回った場合、その差額の 9 割を交付金として支払いました。

なお今年度は、肉専用種の生産者積立金が4月に払底したことから、4月以降の交付単価は国費分（4分の3）の支払となりました。また、4月以降全品種において、肥育生産者の資金繰り対策として生産者負担金の納付猶予を行っていることから、負担金猶予が行われた肥育牛の交付単価は国費分（4分の3）の支払となりました。

肉用牛肥育経営安定交付金制度 契約者数 160 戸

・肥育牛個体登録状況 令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月

種 別	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	合 計
頭 数	12,890 頭	6,982 頭	4,053 頭	23,925 頭

・交付状況（交付単価）

	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	備 考
R2 年 1 月	1,253.7 円	—	47,339.1 円	
R2 年 2 月	44,408.7 円	24,121.8 円	39,319.2 円	
R2 年 3 月	177,220.8 円	116,715.6 円	54,562.5 円	

R2年4月	211,465.35円	148,130.1円	52,145.1円	
R2年5月	186,277.725円	146,220.3円	46,925.1円	
R2年6月	166,985.55円	190,413.9円	48,078.9円	
R2年7月	129,047.175円	180,387.9円	39,031.2円	
R2年8月	139,944.375円	153,076.5円	51,616.8円	
R2年9月	119,114.55円	163,894.5円	39,206.7円	
R2年10月	48,136.95円	131,468.4円	37,969.2円	
R2年11月	4,816.125円	79,365.6円	38,144.7円	
R2年12月	—	29,124.9円	38,791.8円	
R3年1月	2,038.2円	19,405.4円	39,958.7円	R3年3月概算払済 R3年5月精算払予定

・ 交付頭数、金額

時 期	種 別	頭 数	金 額
令和2年1月期(精算払)～ 令和3年1月期(概算払) (月毎交付)	肉専用種	11,630頭	1,211,026,104円
	交雑種	8,308頭	793,138,588円
	乳用種	4,235頭	150,999,955円
合 計		24,173頭	2,155,164,647円

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務 (受託：農畜産業振興機構、継続) **公益**

交付金の交付を円滑に行うため、契約者や事務委託先などの指導や必要な事務処理を行いました。

(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度事務 (単独、継続) **公益**

肉用牛肥育経営安定交付金制度を実施するための事務を行いました。

(4) 肉豚経営安定交付金制度申請等事務 (単独、継続) **収益**

肉豚生産者の依頼を受け、肉豚経営安定交付金制度に係る申請事務等を行いました。

・ 契約者 44戸 90,800頭

(5) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業 (受託：中央畜産会、新規) **その他**

所得や営業利益を令和2年度と比較して3%改善することを目的に、飼料分析、血液分析、肉質分析、畜舎の環境改善、経営分析による経営体質の強化のための取組を行った肉用牛経営者等に対して、肥育牛等が販売された場合に奨励金を交付しました。

・ 参加者数 196戸

・ 奨励金交付頭数 18,656頭